

ART MEETS ARCHITECTURE
COMPETITION 2001-2023

AAC POSTER COMPETITION
2008-2013, 2020-2023

第23回
学生立体アートコンペティション

AAC 2023

AAC
ART MEETS
ARCHITECTURE
COMPETITION



ご挨拶

アート・ミーツ・アーキテクチャー・コンペティション（AAC）は、2001年に始まった当社主催の学生限定立体アートコンペです。

当社では、居住者にゆとりと遊びの空間を提供するため、自社開発したすべてのマンションのエントランスホールに彫刻や絵画などの芸術作品を展示して、ミニ美術館のような空間を創っています。その活動の中で、毎年何百人も芸大を受験し、その中から数十人が入学して、大学院へ十数名ほどが進んでも、卒業後も彫刻を続ける学生が1人いるかないかという現実を知りました。そこで、当社の活動を学生が知ることで、毎年数千棟と建つマンションのエントランスホールに彫刻を置くチャンスがあることに気付いて欲しいと思ったことから、AACを開始しました。

AACでは、最優秀賞を受賞した学生の作品が実際にマンションのエントランスホールに常設展示されます。自分の作品が公共の場所に設置されたという実績が、学生に対し卒業後プロとして活動していくうえでの自信につながり、活躍の場を広げるきっかけになればと考えています。

また、AACは公益社団法人企業メセナ協議会が主催する、企業が取り組むメセナ（芸術・文化振興による社会創造）活動を表彰する「メセナアワード2017」において優秀賞を受賞いたしました。私はこの活動が世の中の役に立ち、また、社会的な評価もいただいたことを大変うれしく思っております。

当社では、今後もこのコンペを継続することにより、若手芸術家の発掘、支援、育成に努めてまいりますので、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社アーバネットコーポレーション
代表取締役会長兼CEO
服部 信治



Sculpture

立 体 アー ト 部 門

最優秀賞

「星群」

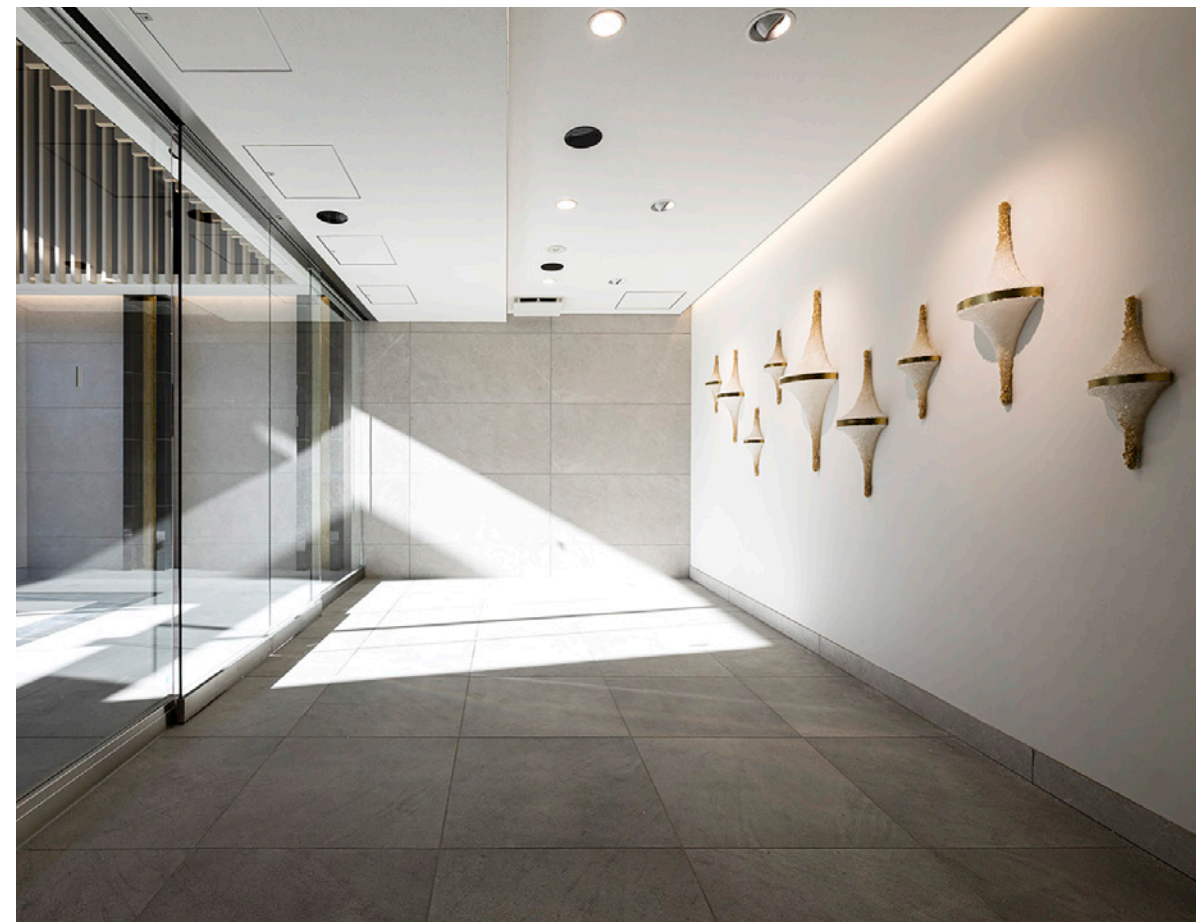
洪 詩楽

多摩美術大学

美術学部工芸学科 ガラス専攻 4年



素材：ガラス、チタン、樹脂





【作品コンセプト】

大小の星たちをランダムに並べて、ライトを当ててきらきら輝く星群を表現しています。室内の空気感やマンションの住人にきらびやかな印象を与え、心をハッピーにさせる作品です。また、色彩には白と金を取り入れ、エントランスホール全体の雰囲気と調和し、一体感を高めました。また、星の中心の金色部分には、耐久性を向上させるためにチタンを使用しています。さらに、星のとがった部分を丸くすることで安全性にも配慮しています。

3ヶ月間の制作期間で最善の力を尽くし、納得のいく作品を制作しました。このコンペティションを通じて、パブリックアートにも注目するようになりました。この貴重な経験を将来に活かし、制作を継続して行きたいと思っています。



【作品設置場所】

西大井プロジェクト
構造・規模：鉄筋コンクリート造6階建
総戸数：81戸
竣工年：2023年



西大井プロジェクト 外観



エントランスホール

審査風景

【一次審査】

氏名、性別、学校、受賞歴などのプロフィールは、完全に伏せた状態で書類審査を行う。最終審査に進む3作品と、入選数作品を選出する。



【最終審査】

実際に展示されるエントランスホールに作品を持ち込み、仮設置し、作者によるプレゼンテーションを行う。プレゼンテーション終了後、最優秀賞を決定する。



杉森 杏香

京都市立芸術大学大学院
美術研究科 彫刻専攻

素材：大理石（トラバーチン）

【作品コンセプト】

吹き抜け構造のエントランスから水中に光が差すような光景をイメージしました。泡が上へ昇り、消え、また新しい泡が昇る様子を、日々を送る人々に重ねます。

「今日という日を大切に、また明日を送れるように。」毎日通る場所で、そんなことを思ってもらえたら幸いだと思います。人々の日々と、この場所に息づく証のようなものを込め、泡を石で掘りたいと思いました。

トラバーチンという小さな穴がたくさん開いた意思を使います。穴の模様が水中に泡が昇る様子と似ていると思い、選びました。

一次選考から最終審査の日まで様々な挑戦や経験がありました。石という素材と向き合う中で自分の未熟さを痛感することもありましたが、またそれらが代え難い経験値に繋がったと思います。今年、このコンペに挑戦できたことを大変嬉しく思っています。今後も挑戦する気持ちを忘れず、制作を続けたいと思います。



五十嵐 俊治

東京大学大学院
新領域創成科学研究科 人間環境学専攻

素材：銅、牛革

【作品コンセプト】

最近では物理的／視覚的な深みをだすために同一素材での層化ではなく、異なる素材を用いた層化、テクスチャ、透明度などの要素の調整を行います。

それぞれの層が一つの全体像を形成するため、制作プロセスが見えながらも、各層や素材と技術が統合された物語性も含めて一つの作品と考えています。品川区域に人々が暮らし始めたのは、今から6、7千年前の縄文時代と言われており、大森貝塚だけでなく交通の要所として歴史を持つため、層化との相性が良いと思われます。

今回はマンションのエントランスに飾るということで、これまでより大型の作品制作となりましたが、環境との調和や作品強度などを重視して制作しました。今回の制作にあたって様々な気づきを得ることができましたので、次の制作ではより自分の強みを出せるよう作品を制作していきたいと思っています。



「The black ground」	「日ごと」	「水余水」
袁 方洲 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻	高橋 呼春 石川県立輪島漆芸技術研究所 普通科 髹漆専攻 1年	小林 楓太 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 デザイン専攻プロダクト・デザイン
「Landscape III・関係」	「このま」	
林 和雄 金沢美術工芸大学大学院 美術工芸研究科 彫刻専攻	TANG JINNING 富山ガラス造形研究所 造形科 1年	

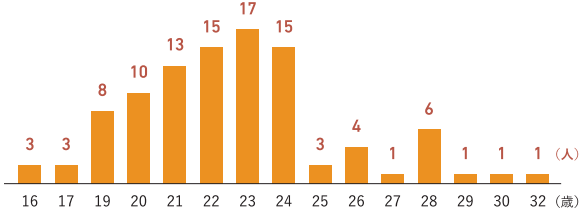
応募者集計結果

応募総数 **114** 作品（2022年度：93作品／2021年度：107作品）

応募者数 **99** 名（2022年度：82名／2021年度：97名）

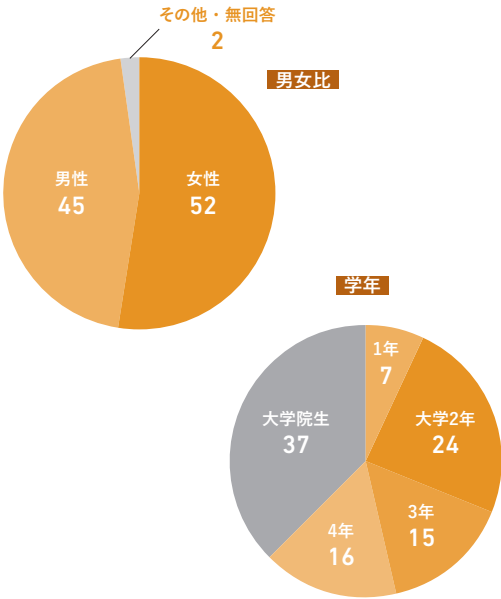
平均年齢 **22.6** 歳（2022年度：23.2歳／2021年度：23.1歳）
※最年少16歳、最年長32歳

年齢



学校

東京藝術大学・大学院	13	東北芸術工科大学	2	石川県立輪島漆芸研修所	1
穴吹デザイン専門学校	11	九州産業大学・大学院	2	千葉大学大学院	1
多摩美術大学・大学院	11	Royal College of Art	1	大阪芸術大学短期大学部	1
金沢美術工芸大学	9	バンタンデザイン研究所高等部	1	大手前大学	1
富山ガラス造形研究所	6	愛知県立芸術大学	1	大成高校	1
広島市立大学	4	愛知工業大学	1	大同大学	1
大阪芸術大学	4	京都芸術大学	1	大牟田高等学校	1
京都市立芸術大学	3	京都精華大学	1	東京理科大学	1
近畿大学	3	芝浦工業大学付属高等学校	1	富山大学	1
東京造形大学	3	女子美術大学	1	武蔵野美術大学	1
日本大学	3	常葉大学	1		
東京モード学園	2	神戸芸術工科大学	1		
東京大学・大学院	2	崇城大学	1		



都道府県

東京都	22	山口県	2
広島県	14	福岡県	2
神奈川県	11	岐阜県	1
石川県	10	静岡県	1
大阪府	7		
富山県	6		
京都府	5		
千葉県	5		
愛知県	3		
埼玉県	3		
兵庫県	3		
熊本県	2		
山形県	2		

審査員

審査員長



秋元 雄史
Yuji AKIMOTO
東京藝術大学名誉教授／
美術評論家

1955年生まれ。アートプロデューサー、キュレーター。金沢21世紀美術館特任館長、国立台南大学栄誉教授。1982年東京藝術大学美術学部卒業。1991年～2006年ベネッセアートサイト直島アーティストック・ディレクター。2007年～2016年金沢21世紀美術館館長。2015年～2021年東京藝術大学大学美術館館長・教授。2019年～2023年練馬区立美術館館長。現代アートから工芸までを幅広く展覧会を通して紹介している。「直島スタンダード」展、「工芸未来派」展、「井上有一」展、「GO FOR KOGEI」展など、多数の展覧会を企画。著書には『一目置かれる知的教養 日本美術鑑賞』（大和書房）、『アート思考』（プレジデント社）、『直島誕生』（ディスカバリー21）他。

【総評】

秋元 雄史——入賞した3作品をひとつひとつ拝見すると、なかなか甲乙つけがたいものがありまして、大変魅力的なものでした。書類審査のときのスケッチで想像していた仕上がりよりも、さらに現物作品は高いレベルだったと思います。その中で最優秀賞を洪さんに決定したのは、今回のマンションのエントランスホールの空間との調和です。今回のエントランスホールの入口は非常に大きく、長いアプローチを進んでいくときのワクワク感が空間の中にあるのですが、そのアプローチを進んだ突き当りの白い壁に現れる洪さんのガラスの作品は非常に美しく映えて見えました。グレーの石材タイルを基調とした内装のデザインとも、うまくマッチしていたと思います。今後、このコンペに応募する学生の方々には、作品のクオリティ、テーマももちろん大切ですが、作品が置かれる空間や環境をどう呼び込んでいくか、アート作品を通して生活に対してどのような提案をしていくかというようなことを考えて欲しいと思います。



西澤 徹夫
Tezzo NISHIZAWA
建築家

1974年京都府生まれ。東京藝術大学美術研究科建築専攻修了。2000年から2005年まで青木淳建築計画事務所、2007年より西澤徹夫建築事務所主宰。「パウル・クレー展」（2011）、「Re:Play展」（2015）、「ロニ・ホーン：水の中にあなたを見るとき、あなたの中に水を感じる?」（2021）、「森村泰昌：ワタシの迷宮劇場」（2022）、などの展覧会会場構成や、東京国立近代美術館所蔵品ギャラリーリニューアル（2011）、京都市京セラ美術館再整備事業（2019、青木淳建築計画事務所と協働）、八戸市美術館（2021、浅子佳英、森純平と協働）など美術館設計に携わる。



小山 登美夫
Tomio KOYAMA
小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長／日本現代美術商協会（CADAN）副代表理事

1963年東京生まれ。1987年東京藝術大学芸術学科卒業。1996年に江東区佐賀町に小山登美夫ギャラリーを開廊。菅木志雄や蜷川実花、杉戸洋、三宅信太郎や、リチャード・タトルやステファン・バルケンホル、トム・サックス、ライアン・マギンレーなど国内外のアーティストを展示。オープン当初より、国外のアートフェアへも積極的に参加し、国内アーティストを紹介。一方、国内でのマーケットの充実と拡大を模索し、若手アーティストの発掘、育成にも力を注ぐ。2015年10月に六本木にギャラリーを移転。2007年よりアートアワードトーキョー丸の内審査員。現在、日本現代美術商協会代表理事。著書に「現代アートビジネス」（アスキー新書）、「見た、聞いた、買った古美術」（新潮社）。「“お金”から見る現代アート」（講談社）など。



服部 信治
Shinji HATTORI
主催会社 代表取締役会長 兼 CEO

1950年福岡県生まれ。一級建築士大学卒業後、主にマンションの設計・企画・コンサルに携わる。1997年に設計事務所として株式会社アーパネットコーポレーションを設立し、多くの分譲用ファミリーマンションの設計等を手掛ける。その後、自社で土地を取得し、投資用ワンルームマンションを中心とした独自性のある開発事業を展開し、2007年に自社の株式をジャスダック証券取引所に上場させた。設計士でありながら不動産開発会社を起こし上場させたという異色の経歴を持つ。一貫してマンションの設計に携わる中で、コンパクト性や機能性に偏り過ぎた日本のマンションに、もっと文化的な要素を取り入れたいと思うようになったことをきっかけに、自社で開発したマンションのエントランスにアートを取り入れるようになった。

西澤 徹夫——このコンペは、マンションの設計士がエントランスホールに設けた一カ所の空白に対して、審査員、学生が、その空白はどうあるべきかという応答をすることに面白さがあり、また、それが結構重要なポイントなのかなと思っています。杉森さんのトラパーチンの作品は、重量感があって、見る角度で、いろんな表情が出てきます。エントランスホールは通常、日常的な動線が、ほぼ固定化していますが、この作品が設置されることによって、後ろから、横から等、違う角度で見てみようということが、動線の変化をもたらすのではないかと思います。このようなエントランスロビーの重心を変える機能もありながら、四面で楽しめるのがすごくいいなと思いました。ただ一つだけ言うと、台座に対する構想が少し不明瞭だったのかなと思いました。作品ばかりが重要ではなく、やはり空間の中でどう置かれるべきかというところも重要なので、台座については今後の検討にしたいと思います。

小山 登美夫——洪さんと杉森さんの作品は、ガラスを熱したり、大理石を彫り上げたりと、立体としてはクラシックな制作方法による作品でしたが、東大生の五十嵐さんの作品は、コンピューターで形状を描いた後、3Dプリンターを使って鋳造型を作り、銅を流し込んで、彫刻に仕上げたものでした。私は五十嵐さんの作品を見て、いろんな制作方法が出てきていることに、非常に新鮮な印象を受けました。今後も、3Dプリンター等の使用により、彫刻の制作方法は広がっていくことでしょう。そして、制作方法の多様化により、このコンペの応募者も、彫刻だけでなく、工芸、建築など様々な専攻の学生が応募してくると思います。このコンペを通じて、彫刻や立体の世界がますます広がっていくことを期待しています。



Poster ポスター部門

松井 寛太

多摩美術大学

美術学部 グラフィックデザイン学科 2年



応募時の作品

立体作品のコンペということで、金属をモチーフに、空間や場を意識して制作しました。学校の課題ではやらない、商業用のポスターということで、文字の多さやロゴなどに悪戦苦闘しながらも、ブラッシュアップを進めていくに連れ、良くなっていくのが自分でも見て取れたのでとても楽しかったです。刷る紙やインク等も表現にあった物を自由に選べ、実際に出来上がったポスターを見た時はとても感動しました。



入選

「作り手」

梅原 香織

町田デザイン&建築専門学校
イラストレーション科 1年



「予感と嘘」

一條 遥貴

武蔵野美術大学 造形学部
建築学科 4年



「遠近法による作図」

野口 陽向

東京工芸大学 芸術学部
デザイン学科 グラフィックデザイン 4年



「自然の芸術」

賀来 竜之輔

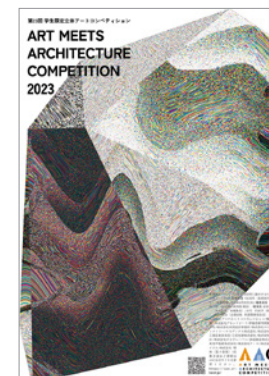
倉敷市立短期大学 専攻科
服飾美術専攻 デザインアートコース 1年



「原石【若き表現者たちのものがきと答え】」

藤田 彩花

愛知県立芸術大学 美術学部
デザイン・工芸学科 デザイン専攻 3年



「立体って、いったい？」

安井 蒼

デジタルハリウッド大学 デジタルコミュニケーション学部
デジタルコンテンツ学科 デザイン専攻 3年



「個性」

柏谷 明梨

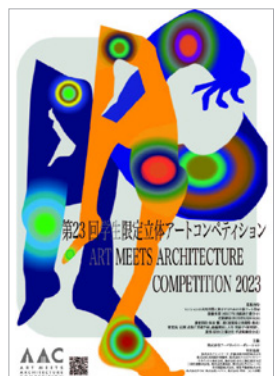
愛知県立瀬戸工科高等学校
工芸デザイン科 3年



「可能性は無限大」

柴崎 里花

広尾学園高等学校
インターナショナルコース 3年



審査員

審査員長



上西 祐理
Yuri UENISHI
アートディレクター／
グラフィックデザイナー

1987年東京都出身。
2010年多摩美術大学卒業、同年電通入社、2021年独立。
今までの仕事に、世界卓球2015 ポスター／テレビ東京、LAFORET GRAND BAZAR SUMMER 2018 & 2019／LAFORET HARAJUKU、雑誌「広告」／博報堂、#SHEMOVES MOUNTAINS／THE NORTH FACE、ISSEY MIYAKE PLEATS PLEASE 2018 FLAGS／ISSEY MIYAKE など。
主な受賞歴：東京ADC賞、JAGDA 新人賞、JAGDA賞、CANNES LIONS金賞、NYADC金賞など。
趣味は旅と雪山登山。旅は現在42カ国達成。



宮本 武典
Takenori MIYAMOTO
キュレーター／
東京藝術大学准教授

1974年奈良市生まれ。
武蔵野美術大学大学院修了。海外子女教育振興財団の派遣プログラムでバンコク赴任、武蔵野美術大学パリ賞受賞により渡仏、原美術館学芸部を経て2005年に東北芸術工科大学へ。2019年3月まで同大学教授・主任学芸員を務め、東北各地でアートプロジェクトや東日本大震災の復興支援事業を牽引する。2014年に『山形ビエンナーレ』を創設しプログラムディレクションを3期にわたって手がける（～2018年）。2019年に角川武蔵野ミュージアム（隈研吾氏設計）開館事業にクリエイティブディレクターとして参加。国際芸術祭「東京ビエンナーレ2020/2021」プロジェクトディレクターを経て、2022年4月より東京藝術大学美術学部准教授。



服部 信治
Shinji HATTORI
主催会社 代表取締役社長

1950年福岡県生まれ。一級建築士。大学卒業後、主にマンションの設計・企画・コンサルに携わる。1997年にマンション設計・企画を中心とした株式会社アーバネットコーポレーションを設立。2000年から投資用マンションの開発・1棟販売事業を開始し、その後、ファミリーマンションや戸建ての開発・販売等、事業を拡大。2007年に自社の株式をジャスダック証券取引所に上場させた。一貫してマンションの設計に携わる中で、コンパクト性や機能性に偏り過ぎた日本のマンションに、もっと文化的な要素を取り入れたいと思い立ち、自社で開発したマンションのエントランスにアートを取り入れるようになった。

【総評】

上西佑理——平面グラフィックにおける「立体性・空間性」への挑戦には関心を置き、審査しました。
グランプリの松井さんの作品は小さく細かな金属片のようなものの集合体が画面内を大きくうねっており、遠くから見ても近くから見ても面白い作品です。質感へのアプローチも他にトライしてる人があまりいなく、新鮮に映りました。またコンペ後のブラッシュアップで、文字の整理、文字とビジュアルの関係、画面内の空間性、印刷への定着、等々でさらに良くなり、松井さんは粘ってよく頑張りました。
平面・立体と言って分けたりしますが、印刷された紙であるポスターも1つのプロダクトであり、どこかに貼ればそこには空間も体験も生まれるものだというところを、物性の強い仕上がりになった松井さんのポスターを見て改めて思いました。

宮本武典——松井さんの作品は、立体コンペなのに映像的というか、フォントやガラスのような欠片たちが紙の上で流動・結合して、何か未知のイメージを生成しようとしていて、背景に私の世代とは異なるデジタルネイティブの世界観も感じ、引き込まれてしまいました。今はまだ何者でもないけれど、これからアート/デザインの担い手になる学生諸君を応援するAACのポスターに相応しい提案だと思います。
入選された8名と、エントリーした他の学生との間には、実はほとんど差はありません。では何が評価されたのか？ その理由を本当に理解するには、この先もまだまだ学び続けなければいけません。それはセンスや技術だけではなくて、デザインとアートの成り立ちと現在形、そしてそれらを包括するヨノナカや世界の文脈を知ること。この文脈を賢くおさえてこそ、新しいイメージを生み出すことができるのです。来年もたくさんの学生がチャレンジすることを期待しています。

審査風景・表彰式



ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION 2023

株式会社アーバネットコーポレーション



今までの最優秀賞作品を全てご紹介いたします。

2001



高橋桃 | 牛I



伴翼 | akka

2002



藤本明洋 | 目に見える偶然



2007



岩田秀和 | Balance - from a division body -



2008



小椋聡子 | ゆるやかなときのながれのなかで



佐野夏記 | (作品タイトルなし)

2003



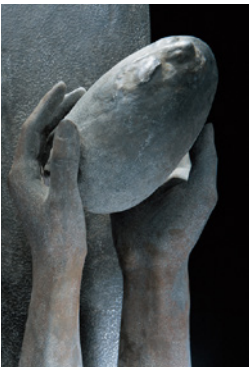
柳原絵夢 | monk's habit



2004



青柳慎 | Family's scenery



2009



八木貴史 | 天上の虹



村岡あさこ | 手に豆が出来る程

2010



宮原高広 | A.S.series 「第二の扉」



増川友梨・齋藤菜月 | HOUSE AAC

2005



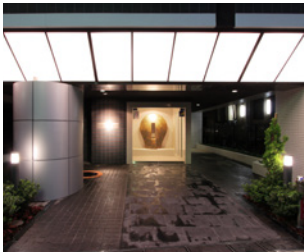
武藤亜希子 | その木が生える場所



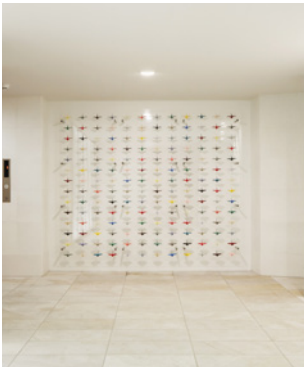
2006



堀園実 | 息を止めてきこえるリズム



2011



堀康史 | HOPE

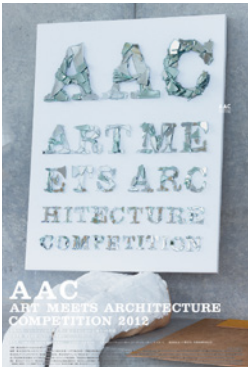


藤平奈央子 | 平面から立体へ

2012



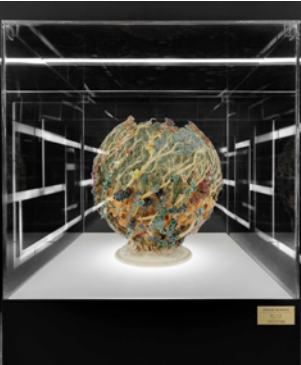
帆足枝里子 | 景



戸塚香里 | あたらしい鏡

2001年からスタートしたAACは、2023年で23回目の開催となりました。
手探りでスタートした第1回目の応募数は、4作品。
その中から立体作品1点、レリーフ作品1点が最優秀賞に選ばれました。
アート界で活躍されている多くの方々が審査にご協力くださり、
少しずつですが応募数も増え、毎年全国から多彩な作品が寄せられています。
今後もこのコンペを継続することにより、若手芸術家の発掘・支援・育成に努めてまいります。

2013



村上仁美 | eternal moment



関谷大志朗 | なにをみる。

2014



井田大介 | UNTITLED



2019



白谷琢磨 | the city



2020



勝川夏樹 | Microcosm



藤田理紗子 | 空間に産む

2015



渡辺志桜里 | ひとつのうみ



2016



古川千夏 | GEMME



2021



隼楠 | Power of Flower



大橋佐和子 | get bigger

2022



平尾祐里菜 | 千種万花



鮎川裕之伸 | 作る

2017



金俊来 | Waterfall



2018



雷康寧 | Be water my friend



2023



洪詩樂 | 星群



松井寛太 | 試行錯誤

2001	最優秀賞	高橋桃 牛I	東京造形大学大学院 彫刻専攻 修士 2年
	優秀賞	伴翼 akka	東京造形大学 彫刻学科 4年
		大成哲 いち	日本大学 芸術学部 彫刻学科 3年
	審査員	山口史貴	東京造形大学
		高岡典男	彫刻家
		古賀賢治	アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
		櫻庭春来	画家
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト用賀アジールコート（東京都 世田谷区）	
2002	最優秀賞	藤本明洋 目に見える偶然	明星大学大学院 木材造形 修士1年
	優秀賞	三神慎一朗 彼女は見ている、彼女の世界観	東京藝術大学 工芸科 鍛金 3年
		森園雅明 slow life	日本大学 彫刻専攻 3年
	審査員	金澤毅	美術評論家／成安造形大学名誉教授／元 原美術館館長
		加藤陽之	STUDIO VOICE編集長
		高岡典男	彫刻家
		古賀賢治	アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
	設置場所	パテラ百合ヶ丘グランアジール（神奈川県 川崎市）	
2003	最優秀賞	柳原絵夢 monk's habit	東京藝術大学大学院 彫刻科 修士 2年
	優秀賞	青柳慎 見知らぬワタシ	京都造形芸術大学大学院 修士 1年
		安部公房 無題	武蔵野美術大学大学院 彫刻 修士2年
		森貴也 ここから・・・	大分大学大学院
	審査員	金澤毅	美術評論家／成安造形大学名誉教授／元 原美術館館長
		正木基	美術評論家／目黒区美術館 学芸員
		加藤陽之	STUDIO VOICE編集長
		高岡典男	彫刻家
		古賀賢治	アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージグランデ三軒茶屋アジールコート（東京都 世田谷区）	
2004	最優秀賞	青柳慎 Family's scenery	京都造形芸術大学大学院 芸術表現学科 修士 2年
	優秀賞	今井紫緒 組み立てられた時間	東京藝術大学大学院 彫刻専攻 修士 2年
		本田祐介 a part	東北芸術工科大学 美術科 工芸 金属 3年
	審査員	金澤毅	美術評論家／成安造形大学名誉教授／元 原美術館館長
		高岡典男	彫刻家
		古賀賢治	アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
		清水敏男	美術評論家／学習院女子大学教授
		加藤陽之	STUDIO VOICE編集長
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト三軒茶屋アジールコートII（東京都 世田谷区）	
2005	最優秀賞	武藤亜希子 その木が生える場所	東京藝術大学大学院 絵画科 油画専攻 博士 3年
	優秀賞	佐脇遥 Tom Cat 2005	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ アートジュエリー 2年
		向川未桜 杜の子	北海道教育大学 芸術文化課程 美術 1年
		柳公絵 成長	長岡造形大学 工芸デザイン 3年
	審査員	岡部あおみ	美術評論家／武蔵野美術大学教授
		保科豊巳	現代美術家／東京藝術大学助教授
		広本信幸	@ギャラリータグポート 担当ディレクター
		真壁佳織	美術ジャーナリスト
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト田園調布アジールコート（東京都 世田谷区）	

2006	最優秀賞	堀園実 息を止めてきこえるリズム	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 彫刻専攻 4年
	優秀賞	北川太郎 時空ピラミッド	愛知県立芸術大学大学院 彫刻 修士 2年
		武末裕子 membran	東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 修士 2年
	審査員	青木淳	建築家
		宮村周子	編集者／ライター
		小山登美夫	小山登美夫ギャラリーオーナー
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト板橋仲宿アジールコート（東京都 板橋区）	
2007	最優秀賞	岩田秀和 Balance - from a division body -	東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 研究生
	審査員特別賞・優秀賞	小泉悟 経過する時間	沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科 環境造形専攻 彫刻専攻 修士 1年
	優秀賞	井川彩子 ゆるり	東京藝術大学大学院 美術研究科 ガラス造形専攻 修士 2年
	審査員	南條史生	森美術館館長
		西沢立衛	建築家／ライター
		佐谷周吾	ギャラリスト／シュウゴアーツ代表
		児島やよい	キュレーター／コーディネーター／ライター
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト両国南アジールコート（東京都 墨田区）	
2008	最優秀賞	小椋聡子 ゆるやかなときのながれのなかで	東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程 研究領域 工芸 鍛金
	優秀賞	三上賢治 Wall	広島市立大学大学院 芸術学研究科 総合造形芸術 博士後期課程 1年
		奥村太郎 ときのなみ	京都市立芸術大学大学院 美術研究科 彫刻 修士 1年
	審査員	酒井忠康	世田谷美術館館長／美術評論家
		小柳敦子	ギャラリー小柳ディレクター
		鈴木芳雄	マガジンハウス ブルータス 副編集長
		内田真由美	アート・コーディネーター
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
	設置場所	アジールコート荻窪（東京都 杉並区）	
		[ポスター部門]	
	最優秀賞	佐野夏記	静岡文化芸術大学 デザイン学部 生産造形学科
	審査員特別賞	早川裕子	武蔵野美術大学 造形学部 視覚伝達デザイン学科
	審査員	鈴木芳雄	マガジンハウス ブルータス 副編集長
		菊地敦己	Bluemarkアートディレクター
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
2009	最優秀賞	八木貴史 天上の虹	武蔵野美術大学大学院 造形研究科 美術専攻 彫刻コース
	優秀賞	片井彩霞 うづくまる	九州産業大学大学院 芸術学部 芸術専攻科
		本郷芳哉 立つこと	東京藝術大学 美術学部 彫刻科 研究生
	審査員	小池一子	クリエイティブディレクター
		堀元彰	東京オペラシティアートギャラリー・チーフキュレーター
		白石正美	白石コンテンポラリーアート代表
		北澤ひろみ	キュレーター
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
	設置場所	アジールコート武蔵小杉（神奈川県 川崎市）	
		[ポスター部門]	
	最優秀賞	村岡あさこ 手に豆が出来る程	多摩美術大学 美術学部 グラフィックデザイン学科 3年
	審査員	えぐちりか	アーティスト／アートディレクター
		北澤ひろみ	キュレーター
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
2010	最優秀賞	宮原嵩広 A.S.series 「第二の扉」	東京藝術大学大学院 美術学部 彫刻科
	優秀賞	堀康史 セルメン	多摩美術大学 美術学部 油画専攻 3年
		小野真由 彩	多摩美術大学 美術学部 工芸学科 陶プログラム 3年
	審査員	新見隆	デザイン・美術評論家／キュレーター
		植松奎二	芸術家
		千葉由美子	ユミコチバアソシエイツ代表
		服部信治	主催会社 代表取締役社長
	設置場所	AXAS森下sta.（東京都 江東区）	
		[ポスター部門]	
	最優秀賞	増川友梨・齋藤菜月 HOUSE AAC	女子美術大学 芸術学部 デザイン学科 4年
	審査員	杉山ユキ	株式会社博報堂 アートディレクター
		服部信治	主催会社 代表取締役社長

2011	最優秀賞 優秀賞	堀康史 HOPE 多摩美術大学 美術学部 油画専攻 4年 帆足枝里子 土塊 女子美術大学大学院 美術研究科 美術専攻 修士課程 立体芸術 向川千世 時を紡いで 大阪教育大学大学院 教育学研究科 美術教育専攻
	審査員	酒井忠康 世田谷美術館館長／美術評論家 岩渕貞哉 月刊『美術手帖』編集長 内田真由美 アート・コーディネーター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト両国アジールコート（東京都 墨田区）
		[ポスター部門]
	最優秀賞 審査員	藤平奈央子 平面から立体へ 日本大学 芸術学部 デザイン学科 2年 帆足英里子 株式会社ライトバプリシティ アートディレクター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
2012	最優秀賞 優秀賞	帆足枝里子 景 女子美術大学大学院 美術研究科 美術専攻 修士課程 立体芸術 グループ名：金保／平山 ー 金保洋・平山里紗 結 金沢美術工芸大学 美術工芸学部 工芸専攻 2年 山口恵美 catena 佐賀大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻 修士2年
	審査員	南條史生 森美術館館長 広本伸幸 実践美学者 児島やよい キュレーター／コーディネーター／ライター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	AXAS上野北（東京都 台東区）
		[ポスター部門]
	最優秀賞 審査員	戸塚香里 あたらしい鏡 武蔵野美術大学 造形学部 視覚伝達デザイン学科 3年 長嶋りかこ 博報堂 アートディレクター／デザイナー 服部信治 主催会社 代表取締役社長
2013	最優秀賞 優秀賞	村上仁美 eternal moment 愛知県立芸術大学大学院 美術研究科 彫刻領域 大野晴美 Human sign 女子美術大学大学院 美術研究科 美術専攻 立体芸術研究領域 安達淳 表出 武蔵野美術大学大学院 造形研究科 デザイン専攻 建築コース
	審査員	土屋公雄 彫刻家／愛知県立芸術大学教授 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長 宮村周子 編集者／ライター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージグランデ蒲田アジールコート（東京都 大田区）
		[ポスター部門]
	最優秀賞 審査員	関谷大志朗 なにをみる。 関西大学大学院 理工学研究科 ソーシャルデザイン専攻 建築学分野 修士1年 高井薫 株式会社サン・アド アートディレクター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
2014	最優秀賞 優秀賞	井田大介 UNTITLED 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 穴井麻美 見つめる 多摩美術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 グループ名：進藤・山崎・前原・横田 フォトンの日々 進藤篤 東京藝術大学大学院 美術研究科 デザイン専攻 山崎明史 日本大学大学院 芸術学研究科 造形芸術専攻 前原良平 日本大学 生産工学部 創生デザイン学科 3年 横田安紀 日本大学 生産工学部 創生デザイン学科 4年
	審査員	塩田純一 新潟市美術館館長／美術評論家 岩渕貞哉 月刊『美術手帖』編集長 森千花 東京都現代美術館 学芸員 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ランドコンシェルジュ新御徒町アジールコート（東京都 台東区）
2015	最優秀賞 優秀賞	渡辺志桜里 ひとつのうみ 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 佐藤風太 気配 東京藝術大学 美術学部 彫刻専攻 3年 金俊来 日の出 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 博士課程 漆工専攻
	審査員	清水敏男 TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE代表 鈴木芳雄 編集者／美術ジャーナリスト／愛知県立芸術大学客員教授 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージグランデ清澄白河アジールコート（東京都 江東区）

2016	最優秀賞 優秀賞	古川千夏 GEMME 広島市立大学大学院 芸術学研究科 博士前期課程 造形芸術専攻 中尾俊祐 Corona 和歌山大学 システム工学部 デザイン情報学科 4年 堀田光彦 朝の輝き 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 鍔金研究分野 修士 1年
	審査員	秋元雄史 東京藝術大学大学美術館館長／金沢21世紀美術館館長 望月かおる 月刊『美術手帖』副編集長 内田真由美 アート・コーディネーター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト蔵前IIアジールコート（東京都 台東区）

2017	最優秀賞 優秀賞	金俊来 Waterfall 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 博士課程 漆工専攻 後藤宙 Heterogen 東京藝術大学大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻 土井彩香 Starting from white 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻
	審査員	堀元彰 東京オペラシティアートギャラリーチーフ・キュレーター 三沢厚彦 彫刻家 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	AXAS代々木八幡アジールコート（東京都 渋谷区）

2018	最優秀賞 優秀賞	雷康寧 Be water my friend 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 佐野圭亮 現の秤 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 堀田光彦 精神の美 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 鍔金研究分野 研究生
	審査員	馬淵明子 国立西洋美術館館長 ヤノベケンジ 現代芸術作家 内田真由美 アート・コーディネーター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト両国IIアジールコート（東京都 墨田区）

2019	最優秀賞 優秀賞	白谷琢磨 the city 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 番原耕一郎 Neighbor 広島市立大学大学院 芸術学研究科 総合造形芸術専攻 五十嵐亮太 半分の阿咩 東京藝術大学大学院 美術研究科 デザイン専攻
	審査員	藤森照信 建築家／建築史家／東京都江戸東京博物館館長 橋本麻里 ライター／エディター／公益財団法人永青文庫副館長 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	アジールコート台東根岸（東京都 台東区）

2020	最優秀賞 優秀賞	勝川夏樹 Microcosm 東京藝術大学大学院 美術研究科 美術専攻 グループ名：hamuhamu ー 早坂雅寿・堀真代 ひとときひととき 京都市立大学 システムデザイン学部 システムデザイン学科 インダストリアルアートコース 4年
	審査員	山崎稚子 むれやなぎ 文化服装学院 服飾専門課程 服飾研究科 1年 片岡真実 森美術館 館長 宮津大輔 アート・コレクター／横浜美術大学 学長 大成哲 彫刻家／第1回AAC優秀賞受賞 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	メイクス新中野アジールコート（東京都 中野区）

		[ポスター部門]
	最優秀賞 審査員	藤田理紗子 空間に産む 女子美術大学 芸術学部 デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻 2年 森井ユカ 立体造形家／雑貨コレクター 古平正義 アートディレクター／デザイナー 服部信治 主催会社 代表取締役社長

2021 最優秀賞 優秀賞 審査員 設置場所

隼楠 | Power of Flower 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 漆工領域
袁方洲 | さんすいの間 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻
山口聡士 | 蜃気回層 東京工業大学大学院 環境・社会理工学院 建築学系建築学コース
青木淳 建築家／京都市美術館館長
荒神明香／南川憲二 現代アートチーム 目[mé]
小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長／日本現代美術商協会（CADAN）代表理事
服部信治 主催会社 代表取締役社長
ステージグランデときわ台アジールコート（東京都 板橋区）

[ポスター部門]
最優秀賞 審査員
大橋佐和子 | get bigger 呉工業高等専門学校 建築学科 4年
古平正義 アートディレクター／デザイナー
ナカムラクニオ 「6次元」主宰／映像ディレクター
服部信治 主催会社 代表取締役社長

2022 最優秀賞 優秀賞 審査員 設置場所

平尾祐里菜 | 千種万花 広島市立大学大学院 芸術学研究科 造形計画研究 金属造形領域
袁方洲 | サクラの柱 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻陶芸(ガラス造形)研究分野 博士 2年
中居瑞菜子 | 杜の黎明 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 漆芸領域
保坂健二郎 滋賀県立美術館ディレクター（館長）
岩渕貞哉 「美術手帖」総編集長
大竹利絵子 彫刻家
服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO
錦糸町Vプロジェクト（東京都江東区）

[ポスター部門]
最優秀賞 審査員
鮎川裕之伸 | 作る 多摩美術大学 美術学部 グラフィックデザイン学科 1年
ナカムラクニオ 「6次元」主宰／映像ディレクター
上西祐理 アートディレクター／グラフィックデザイナー
服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO

2023 最優秀賞 優秀賞 審査員 設置場所

洪詩楽 | 星群 多摩美術大学 美術学部工芸学科 ガラス専攻 4年
杉森杏香 | 日々泡 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻
五十嵐 俊治 | Kasane 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 人間環境学専攻
秋元雄史 東京藝術大学名誉教授／美術評論家
西澤徹夫 建築家
小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長／日本現代美術商協会（CADAN）副代表理事
服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO
西大井プロジェクト（東京都品川区）

[ポスター部門]
最優秀賞 審査員
松井寛太 | 試行錯誤 多摩美術大学 美術学部 グラフィックデザイン学科 2年
上西祐理 アートディレクター／グラフィックデザイナー
宮本武典 キュレーター／東京藝術大学准教授
服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO

AAC2023 立体アートコンペティション概要

募集期間	2023年4月4日～6月27日
募集内容	設置場所の空間を生かした立体アート作品
条件	1. 未発表のオリジナル作品 2. 展示場所にアンカー等で固定できる形状 3. マンションの入居者にとって安全で心地よさを感じさせる作品 4. 電源の供給を必要とする作品は不可
設置場所	西大井プロジェクト（東京都江東区）のエントランスホール
素材	石・鉄・FRP 等、長期展示に耐えうる材質
作品サイズ	幅4,240×奥行900×高さ2,000（mm）に収まるもの／台座置き 重量約100kg以下／壁付け 約50kg以下
応募資格	全国の大学・大学院・短期大学・専門学校・高校等で、美術・芸術・デザイン・建築・空間演出等を学んでいる学生（グループ可）
応募点数	複数応募可
賞	最優秀賞（1点）…… 賞金総額100万円（美術旅行費を含む）／作品は作者名(グループ名)の入ったプレートと共にマンションに常設設置 優秀賞（2点以上）…… 賞金20万円 入選（数点）…………… 賞金5万円
制作補助金	一次審査を通過した入賞作品（3点以上）には制作補助金として20万円+搬出入費を支給 ※遠方者の交通費・宿泊費も別途支給
協賛企業 ※50音順	特別協賛 株式会社アセットリード／伊藤忠都市開発株式会社／株式会社共同設計事務所／株式会社クロスファクトリー／ケネディクス株式会社／株式会社合田工務店 東京本店／三信住建株式会社／株式会社陣設計／株式会社タカラレーベン／多田建設株式会社／株式会社田中電気工業所／東急不動産株式会社／株式会社PIM／ホクシン設備株式会社／株式会社メイクス／株式会社明和 協賛 株式会社朝倉崇夫都市建築設計事務所／NECネクサソリューションズ株式会社／株式会社エル設計事務所／カイトイ工業株式会社／株式会社核建築設計事務所／有限会社キューオーエルクリエーションー級建築士事務所／株式会社グッドライフスタイルプラス／京王建設株式会社／株式会社後藤組／株式会社コルピノス／坂田建設株式会社／三誠産業株式会社／株式会社シーファイブ／株式会社GSコーポレーション／株式会社住宅新報／新三平建設株式会社／株式会社第一ヒューテック／東京カレント株式会社／株式会社都市建コーポレーション／株式会社中村建工／株式会社ニシヤマ建築デザイン／日ポリ化工株式会社／株式会社ビームス・デザイン・コンサルタント／株式会社不動産経済研究所／株式会社吉田正志建築設計室
賛助	株式会社アクシード設計事務所／株式会社アクロス／イデア株式会社／株式会社ウミイチ／エスバスリエ建築工房ー級建築士事務所／株式会社グローブアドバンス／篠崎・進士法律事務所／株式会社スタイレックス／株式会社設計工房イー・ディー／セブンランズ株式会社／タカスタンダード株式会社／株式会社地域環境開発／ナチュラルデザイン／株式会社柳学アーキテクト

【発行日】2023年12月26日 【発行所】株式会社アーバネットコーポレーション 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-2-5 トライエッジ御茶ノ水13F TEL: 03-6630-3050 (代) 【デザイン】YUKA DESIGN Co., Ltd.

